第2類医薬品

腰痛 神経痛に 早く効く

ラックル® すぐに溶け出す 速溶錠

胃にやさしい
眠くならない

解熱鎮痛薬

第2類医薬品

服用に際して、この箱の説明文書を必ずお読み下さい。
また、必要なときに読めるよう大切に保管して下さい。

開け口

販売名ラックル

腰痛・神経痛に早く効く ラックル® すぐに溶け出す 速溶錠

特　長

- 水に触れるとすぐに溶け出す速溶錠です。
- 腰痛・神経痛に早く効く飲み薬です。
- 胃にやさしく、眠くなりません。
- カリカリとかみくだくか、軽く口の中で溶かしてから、水と一緒に服用。
- すっきりとしたミント味です。
- 外出時に携帯しやすいシート包装です。
- 防腐剤無添加・塩分無配合。

効能・効果

- 腰痛・神経痛・関節痛・肩こり痛・筋肉痛・頭痛・ねんざ痛・外傷痛・打撲痛・骨折痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・月経痛（生理痛）の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

成人（15歳以上）、**1回1錠、1日3回**を限度とし、なるべく空腹時をさけて、かみくだくか、軽く口中で溶かした後、水と一緒に服用して下さい。服用間隔は4時間以上おいて下さい。15歳未満は服用しないで下さい。

ワクチンの副反応の治療で飲まれる時、ワクチンの副反応が出る前に飲むとワクチンの効果が減少することがあります[1,2]。副反応が出た後に飲んで下さい。

1) Roman Prymula et al. Lancet. 2009 Oct 17 ; 374(9698): 1339-50.
2) Anne M C M Doedée et al. PLoS One. 2014 Jun 4 ; 9(6): e98175.

成分　1錠中　アセトアミノフェン300mg

添加物　トウモロコシデンプン、セルロース、*l*-メントール、エリスリトール、ステアリン酸マグネシウム、無水ケイ酸、アクリル酸エチル・メタクリル酸メチル共重合体、ヒドロキシプロピルセルロース、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、アセスルファムカリウム、赤色3号

製造販売元
日本臓器製薬株式会社
大阪市中央区平野町4丁目2番3号

お問合せ先 ☎06・6222・0441
土・日・祝日を除く 9:00～17:00
副作用被害救済制度 ☎0120・149・931

第2類医薬品 ラックル®

⚠使用上の注意 ⊠**してはいけないこと**（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないで下さい。（1）本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。（2）本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。（3）フェニルケトン尿症の人（本剤はL-フェニルアラニン化合物を含有するため）。2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬。3. 服用前後は飲酒しないで下さい。4. 長期連用しないで下さい。

用法・用量に関連する注意

（1）定められた用法・用量を厳守して下さい。（2）図のようにシート包装の凸部を指先で押して錠剤を取り出し、服用して下さい。誤ってシート包装のまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながりますのでご注意下さい。

保管及び取扱い上の注意（1）直射日光の当たらない湿気の少ない涼しいところに保管して下さい。（2）小児の手の届かないところに保管して下さい。（3）他の容器に入れ替えないで下さい（誤用の原因になったり品質が変わることがあります）。（4）使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

⚠使用上の注意 **相談すること**

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談下さい。（1）医師又は歯科医師の治療を受けている人。（2）妊婦又は妊娠していると思われる人。（3）高齢者。（4）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。（5）次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍。2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談下さい。

関係部位	症　状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症　状
ショック（アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮ふのかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮ふの広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮ふ上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮ふが広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根等）のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮ふや白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この箱を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者にご相談下さい。